北大ピアノクラブ
スプリングコンサート 2023

日時 : 4月 23日 (日)
開場 14:30 開演 15:00
会場 : 北海道クリスチャンセンター

mail : hokudaipc2023@gmail.com / Twitter : @hokudai_piano / Instagram : @hokudai_piano

目次

〈第一部〉

1.　「夜に駆ける」　YOASOBI
　工学部環境社会工学科　２年　赤坂菜々花（あかさかななか）

2.　「グラドゥス・アド・パルナッスム博士」　ドビュッシー
　工学部環境社会工学科　２年　酒向みなみ（さこうみなみ）

3.　「24 の前奏曲 第 23 番 ヘ長調 Op.53-23」　カプースチン
　工学部機械知能工学科　３年　坂野遼太郎（ばんのりょうたろう）

4.　「６つのピアノ小品　ト短調　Op.118-3 『バラード』」　ブラームス
　水産学部海洋生物科学科　２年　堀田柊成（ほったしゅうせい）

5.　「華麗なるロンド　変ホ長調　Op.62」　ウェーバー
　理学部化学科　２年　端山恵菜（はやまえな）

6.　「ピアノソナタ　第２番　嬰ヘ短調　Op.2 第１楽章」　ブラームス
　医理工学院　１年　東山創（ひがしやまそう）

〈第二部〉

7. 「KICKBACK」　米津玄師
文学部人文科学科　3年　北澤剛（きたざわつよし）
工学部機械知能工学科　3年　坂野遼太郎（ばんのりょうたろう）

8. 「平均律クラヴィーア曲集第1巻 第20番 イ短調 プレリュードとフーガ」
J.S. バッハ
医学部保健学科卒　永山聖士（ながやままさし）

9. 「8つの演奏会用エチュード　Op.40-1」　カプースチン
「プレリュード　Op.28-16」　ショパン
札幌医科大学医学部医学科　4年　村越和基（むらこしかずき）

10. 「歌曲集『ミルテの花』より 変イ長調 S.566 『献呈』」　シューマン　（リスト編曲）
工学部環境社会工学科　3年　早川桂佑（はやかわけいすけ）

11. 「ワルツ第1番 変ホ長調 Op.18 『華麗なる大円舞曲』」　ショパン
工学部環境社会工学科　2年　浜口怜子（はまぐちれいこ）

12. 「超絶技巧練習曲11番『夕べの調べ』」　リスト
理学部数学科　4年　笹木元太（ささきげんた）

第一部

1.　「夜に駆ける」　YOASOBI

工学部環境社会工学科　2年　赤坂菜々花（あかさかななか）

〈曲紹介〉

「夜に駆ける」は3年前大流行したので皆さんご存知だと思います。
YouTubeではなんと2.6億回再生、色々な方がカバーしています。今やカラオケの定番となっていますが、歌うには難易度が高い曲として知られています。歌えないなら弾くしかないと思い、練習することにしました。これを弾けたらちやほやされるんじゃないかとも考えてました。そして実際褒めてもらってから味をしめて、各地で弾いています。もう2年は弾いているので楽しんで弾きたいです！
人物紹介でも書いていただきましたが、前回からプログラムの表紙などを描かせて頂いてます。私なりに頑張っているので、1年間の成長を見守ってください…笑笑

〈他己紹介〉

彼女はかの有名な赤坂菜々花ちゃんです！
え？何で有名かって？
実は彼女、このパンフレットの表紙を描いてくれたんです！この表紙、とーってもかわいくないですか？？細かいところまでこだわって描いてくれているので、ぜひぜひじっくり見てみてください！
また彼女は、写真を撮ることや、建築物が好きで、歴史的な建造物を訪れて、写真を撮ったり、建物をスケッチしたり、その建物の歴史や、造り、特徴を細かいところまで捉えて、ノートにまとめているんです！それを見るたびに、毎回、実際行って見てみたいなって思わされます。
そんな多彩な彼女の演奏をお楽しみください！

2.　「グラドゥス・アド・パルナッスム博士」　ドビュッシー

工学部環境社会工学科　2年　酒向みなみ（さこうみなみ）

〈曲紹介〉

この曲は、ドビュッシーが作曲した組曲『子供の領分』の1曲目です。少し変わった題なのは、この曲がクレメンティの『グラドゥス・アド・パルナッスム』というピアノの教則本のパロディーであることに由来します。このため、冒頭からいかにも指の練習のような16分音符が連続します。中間部ではメロディーの形はそのままで0.5倍速&転調となりますが、これはピアノのお稽古に退屈する子どもの様子を暗示しているとか。今まで基礎練習から逃げ続けた私が、果たして転ばず詰まらず綺麗に弾き通せるのでしょうか…。

〈他己紹介〉

酒向みなみちゃん。ちょっと珍しい苗字(って私も人のこと言えないけど)の彼女はピアノクラブ33期には結構多い気がする静岡県出身者の1人であり、優しさのかたまりみたいな人です。以前、駅前でスーツケースが縁石にひっかかって困っていた小さな男の子に真っ先に気づいて助けに行っていました。まさに女神。高校までは剣道部だったそうなのですが、細かいところによく気がつくのは武道で培われた精神なのでしょうか。持ち前の明るさと優しさで先輩とも同級生ともすぐに打ち解けてしまうコミュ力高め女子なので、新入生のみなさんもぜひ気軽に話しかけてみてください！

3.　「24の前奏曲 第23番 ヘ長調 Op.53-23」　カプースチン

工学部機械知能工学科　3年　坂野遼太郎（ばんのりょうたろう）

〈曲紹介〉

数多きカプースチンの曲の中でも屈指の人気曲といっていいのではないでしょうか。軽快なメロディと色鮮やかな和声が豊かな曲です。(なんかどの曲紹介でもコレ言ってる気がするぞ)

難しい曲なのは間違いないのですが、曲が明るいと弾いてて楽しいものです。カプースチンのソロ曲は初めてなので自分のジャズピアノへの入り口として頑張って弾きます。ジャズやってみたいけどアレンジなんてできる気がしねえって人にはカプースチンオススメです。楽譜通り弾くだけでジャズが完成してしまいます。…楽譜通り弾けるならの話だがなァ…

〈他己紹介〉

坂野くんは「ばんの」と読み、名前を１発で読まれたことがないそうです。しかし、名前を間違えた人もいないそうです。なぜかお分かりですか？、彼の名前を間違えた人はもうこの世にはいないからです。
この紹介ページを友達と見た時、間違っても「さかの」と声に出しては行けませんよ。彼は音もなく近づき、そのままあなたは帰ってくることは出来ないでしょう。

かくいう私も、彼と連弾が決まった時まで「さかのくん」と呼んでいました。そうすると、私はもう既にあちらの世界にいることになります。彼は時空を司り、全てを行うことができます。私たちの演奏が見られている皆さん、もう「ばんの」、いや、「万能」に取り込まれていますよ…

4.　「６つのピアノ小品　ト短調　Op.118-3 『バラード』」　ブラームス

水産学部海洋生物科学科　２年　堀田柊成（ほったしゅうせい）

〈曲紹介〉

ブラームスの晩年期に出版された作品集の一曲で、作品集はクララシューマンに献呈されています。（ブラームスはクララを想っていたが、内気な性格ゆえに想いを伝えられなかったんだとか。）６つの作品のちょうど真ん中に当たる３つ目の曲であり、今回は３曲目のバラードを弾きますが、素晴らしい曲ばかりであるので一度全てプロの演奏を聴いて僕の演奏を上書きすることをおすすめします。

さて曲調はというと、いきなり冒頭からハキハキとした和音が飛び交い、力強いメロディが繰り広げられます。中間部では打って変わってしっ

とりしたメロディが流れ、そして再び冒頭のメロディが再現され不気味に終焉に向かって終わります。お気に入りの曲なので頑張ります。

〈他己紹介〉
柊成君は静岡県出身の水産学部 2 年生です。釣りや野球や Bump of Chicken が好きな男の子です。私は日本に来たから日本語を話すこととか、友達を作るのは大変でしたが、柊成とはそうではありませんでした。会った日から彼は親切だし、楽しいし、面倒見がいいです。最近、彼に日本語を上達するために助けてもらっていて、嬉しいです。
柊成君の演奏をお楽しみください!

5.　「華麗なるロンド　変ホ長調　Op.62」　ウェーバー
理学部化学科　2 年　端山恵菜（はやまえな）

〈曲紹介〉
この作品は、ドイツの作曲家ウェーバーによって 19 世紀初めに作曲されました。ロンドとは、異なる曲調の挿入部を挟みながら、主題が何回も繰り返される形式をとる楽曲のことです。この曲にも、冒頭に示される華やかな主題が何度も登場します。最近知ったことですが、この曲には「ざれごと」という副題が付けられています。たしかに、わずか 1 小節の間に高音部から低音部まで一気に駆け抜けるという冗談みたいなフレーズが随所に登場したり、音量や曲調の緩急がはっきりしていたりするところが、とてもユーモラスだなと思います。きらきらした響きを持った素敵な曲なので、丁寧に弾ききれるよう頑張ります。

〈他己紹介〉
端山恵菜ちゃんは、「凛としている」という表現がぴったりの才女で、サークルでは今年度の会計係として活躍中です。（本当に頭が上がりません…いつもありがとう！）なんと昨年度に自然科学実験で鈴木章賞を受賞したという最強エピソードまで持っています。でも、凄すぎて近寄りがたい…なんてことはありません！とっても親しみやすいです。そして恵菜ちゃ

んは去年の後期からの入部ながら、すでにコンサートへの出演は３回目！すごいです。今回のコンサートでも、曲名の通り華麗な演奏を披露してくれることでしょう！お楽しみに！

6.　「ピアノソナタ　第２番　嬰ヘ短調　Op.2 第１楽章」　ブラームス

医理工学院　１年　東山創（ひがしやまそう）

〈曲紹介〉

ブラームスといえば、どんなイメージが浮かぶでしょうか？僕は音楽室の肖像画で「まじで怖い、夜になったら目とか動きそう。マジで髭多すぎてちょっと手入れダルそう。」といったイメージを持っていました。そんな彼ですが、有名な音楽家であるシューマンにピアノを習っており、さらにその奥さんに生涯思いを寄せていたある意味すごいロマンチストな方なのです。今回演奏する曲にはそんなコワモテなブラームスの顔(｀・ω・´)とロマンチック、２つの奇跡が融合した最高の楽曲となっています。ぜひブラームスの生涯を思い浮かべながら聞いてみください!

〈他己紹介〉

東山さんの紹介をさせていただきます！東山さんは先先代ピアノクラブの部長です。耳コピが出来るので、リクエストすれば快くその場で弾いてくれます。

才能は音楽だけに留まらず、テニスやボーリングも上手です。テニスに関しては圧倒的な実力から「小樽のジョコビッチ」と呼ばれています(嘘です)。趣味の渋さから少々おじさんっぽいのかと思えば、アクセサリーに興味があるとか無いとか。ぜひ東山さんの誕生日にはオシャレなアクセサリーをプレゼントしましょう。きっと喜んでくれます。

さて、今日のコンサートでも素敵な音色を聴かせてくれることでしょう。乞うご期待を！

第二部

7.　「KICKBACK」　米津玄師

文学部人文科学科　3年　北澤剛（きたざわつよし）

工学部機械知能工学科　3年　坂野遼太郎（ばんのりょうたろう）

〈曲紹介〉

米津玄師が轢かれることでおなじみ「KICKBACK」を連弾で弾いてみます。曲のテンポがなんといっても速いので怖いですが、努力と未来とbeautiful starで乗り切ります。会場をHAPPYで埋め尽くしてやるぜ（震え声）

キックバックは刃の回転によってチェーンソーが跳ね返る現象のことをいうそうです。実家でチェーンソー使ったことあるんですが、しっかり持ってないと腕持ってかれます。まじで危ない。みんなも気を付けようね。

〈他己紹介〉

（北澤剛）怖い人じゃないです。ちょっと勢いあまってるだけです。信じてください。

YouTubeでは「シャングリラG」としてとっても面白い動画をうｐしてるみたいです。タンバリンとか叩いてます。個人的にはコム道東の動画が好きです。途中寒さで口回らなくなってるの含めて好きです。

そんな彼ですが先日、未来自治体全国大会という大会でチーム「コム道東」として全国2位に輝きました。全国400チームの2位なのでこれはすごいことです。YouTubeに動画残ってるので見てみてね。チーム戦に単騎で乗り込んだせいか司会の人が「それではコム道東のみなｓ…コム道東の…えー…方から意気込みを」ってなってて面白かったです。

さて、実は彼はこのサークルに入るまでピアノの経験はゼロでした。もちろんコンサート出演経験もありません。それでも連弾という形でエントリーし、相方が色々教えながら驚異的な速度で成長していきました。ピアノの経験がなくてもコンサートに出られる、それがこのサークルのいいとこ

ろだと思います。頑張るぞ！シャンＧ！

8.　「平均律クラヴィーア曲集第１巻 第 20 番 イ短調 プレリュードとフーガ」
J.S. バッハ
医学部保健学科卒　永山聖士（ながやままさし）

〈曲紹介〉

音楽の父バッハの平均律です。中世のチェンバロ仕様の教会音楽でクリスチャンセンターの雰囲気に合うと感じたことから、また手指の分離のテクニック面から演奏のステップアップを求めての選曲になりました。

今春に学部より卒業し、新生活のスタートから順調な船出につなげられるよう、身の引き締まる思いが込められると良いです。新入生の皆様、くれぐれも講義すっぽかしての五月病にお気をつけて！

〈他己紹介〉

永山さんは一度社会人を経験してから北大に入るという異色の経歴の持ち主で、我がピアノクラブの伝説的存在です。勉強も忙しいはずなのに積極的に部活に参加しているだけでなく、新しいことにどんどん挑戦していくチャレンジ精神には驚かされます。見習わねば。

永山さんのピアノは独特なアレンジが効いていて、前回のコンサートに来た作曲家の友人も感心していました。きっと彼の作曲にも強く影響を与えたと思います。今回はどんな演奏を聞かせてくれるのか楽しみですね！

9.　「8 つの演奏会用エチュード　前奏曲　Op.40-1」　カプースチン
「プレリュード　Op.28-16」　ショパン
札幌医科大学医学部医学科　4 年　村越和基（むらこしかずき）

〈曲紹介〉

8 つの演奏会用エチュードは曲名の通り、8 つの曲からなり、全体で一続きの作品となります。ジャズの語法であるスウィングやブギウギ、ロックやラテンのリズムの使用など、これまでのクラシック音楽では馴染みのな

かった要素が散りばめられているのが特徴です。演奏するのはその中から1番の前奏曲です。カプースチンの独特の世界観を表現できればと思います。

プレリュードはすべての長短調を網羅した24の前奏曲で、ショパンの作品です。今回はその中から16番を演奏します。いきなり叩きつける6個のffの和音の導入の後、凄まじい勢いで疾風のような16分音符が駆け巡ります。

〈他己紹介〉

私が初めて彼に会ったのは、昨年のフレッシュマンコンサートでした。彼は昨年入部したこともあって、そのコンサートに大トリとして参加したのですが、リハーサルが始まっても来ない。開場時刻になっても来ない。一部が始まっても来ない。自分の出番の部が始まる直前にようやく来て、颯爽と難曲を弾いていたことが印象深いです。（遅れたのは学校の授業があったからなんだとか、）その後の宴会で席が隣になったこともあって、たくさんお話をしたのですが、そこで私が一個上のDQNさんに絡まれた時、先輩の権限を使ってDQNさんを撃退してくれました笑。一年生の皆さん村越さんとは仲良くした方が良いですよ～。

PS.ちなみにDQNさん今日のコンサート出てます笑

PPS.ピアノクラブは良い人ばっかです

10.　「歌曲集『ミルテの花』より 変イ長調 S.566 『献呈』」　シューマン　編曲：リスト

工学部環境社会工学科　3年　早川桂佑（はやかわけいすけ）

〈曲紹介〉

作曲者のロベルト・シューマンが結婚式前日に妻クララに送った歌曲集『ミルテの花』の1曲目を、友人であるリストがピアノ独奏用に編曲した

ものです。曲の前半部分はシューマンの曲に忠実にしっとりした曲調で、後半部分はリストが華やかにアレンジしています。とってもロマンチックで美しい曲ですが、クララはリストの編曲が気に入らなくてブチ切れたそうです。かわいそうなリスト。

〈他己紹介〉

ｷｭｳｶﾞｸﾁｭｳでﾄｲｶﾝﾍﾞｯ(ﾎﾛﾉﾍﾞﾁｮｳ)に住んでいるﾎﾟｹｯﾄﾓﾝｽﾀｰ。度々，ｻｯﾎﾟﾛに出没し，例会を賑わせることで知られている。得意技は，ﾘｽﾄのﾗ・ｶﾝﾊﾟﾈﾗ。

問寒別では，何をしているのか僕は知らない。しかし，彼の住んでいるところには本当にモンスターしかいないらしい。1回行ってみたいところだが，列車の本数は1日3本，さらには車で行っても，5時間はかかる。何故そこに住んだのか。分からない。ただピアノは置いてあるという話を聞いたので，そこが決め手なのだろう。

今回も，上手く弾きこなしてくれるでしょう。期待しています。

11.　「ワルツ第1番 変ホ長調 Op.18 『華麗なる大円舞曲』」　ショパン

工学部環境社会工学科　2年　浜口怜子（はまぐちれいこ）

〈曲紹介〉

ファンファーレのような冒頭とキャッチーなメロディーが非常に有名なワルツ第1番は、説明するまでもなくほとんどの方がご存知だと思います。若かりしショパンが本格的に音楽活動を始めた頃、世間ではウィンナーワルツが大流行していたそうで、音楽で食べていくためにはショパンもワルツを作曲せざるをえなかったのでしょうが、本人はあまり乗り気ではなかったそうです。そのせいなのか、確かにショパンのワルツはリズムが取りにくかったり短調のものがあったりなど、正統派のものとは一味違うスタイルになっています。そんなショパンの全19曲のワルツの中で、第1番は比較的王道寄りの華やかな曲調ですが、叙情的なショパンらしさも忘れ

ずに表現よう頑張りたいです！

ちなみにこの曲を弾いているピアニストで推してるのが 2010 年のショパコンで第 4 位だったエフゲニ・ボジャノフさんです。普通 1 拍目にアクセントを置くワルツを、あえて三拍目にアクセントを置くことでマズルカ風に仕上げているのがポイントです！絶対無駄に体力消費してるやろってくらい大胆な身振りと演奏中の顔芸がおもしr…興味深いので、気になる方は是非 YouTube で検索してみてください！

〈他己紹介〉

— えー、本日はインタビューよろしくお願いいたします。

R: はい、よろしくお願いいたします。

— では、軽く自己紹介を、どうぞ。

R: 匿名 R です。なんか弾いてる奴です。
あー、マイクテス、テス。特定しないでね。

— 好きな食べ物は？

R: 焼肉です。人間なので。

— 趣味はありますか？

R: ピアノです。部長なので。

— すいません、年齢は？

R: 19 才です、永遠に。

— 永遠に？

R: 嘘です。人間なので。私は人間なので。

— 渋いですね。悩みはありますか？

R: 毛量多くてやんなっちゃう。
あと、統率が苦手なので、「部長」って言われると、
ちょっとプレッシャーです。

— なるほど、毛量ですね。他には何かありますか？

R: はい。最近弾ける曲のストックがなくなってきて焦ってます。

— はあ。

R: 大昔に習った曲を弾き直したり、簡単な曲を探したり、
超スローペースで譜読みしたり、色々です。

— へえ〜。

R: でも、兼部してるし、
最近車校も通い始めたし、
弾ける時に弾けたらいいな！って思います。

— それも人生ですね。

R: そうですね、私は人間なので。

匿名 R です。なんか弾いてる奴です。
北大ピアノクラブの、33 期部長です。

部長という役職に、あなたはどんなイメージを着せる？
匿名Ｒです。特定しないでね。
匿名Ｒです。

―　えー、本日は貴重なインタビューありがとうございました。

R:　なんか弾いてる奴です。
匿名Ｒです。

―　それでは、さようなら。

R:　さようなら。
ハマグ…　あっ　匿名Ｒでした。

12.　「超絶技巧練習曲 11 番『夕べの調べ』」　リスト

理学部数学科　4 年　笹木元太（ささきげんた）

〈曲紹介〉

この超絶技巧練習曲という全 12 曲からなる練習曲集は、リストが 41 歳の時に作曲されたものです。この曲は、リストが 14 歳の時に作曲した「すべての長短調のための 48 の練習曲」という曲集を 26 歳の時に大規模な改訂を行い生まれた「24 の大練習曲」という曲をさらに改訂して生まれたものです。実は着想から現在よく知られる第 3 稿である超絶技巧練習曲の完成までは 30 年近い年月がかかっています。初版から曲数が減っているように思えるかもしれませんが、48 と題名に入っている初版から改訂されても変わらずに 12 曲での構成となっています。初版と第 2 稿について少し触れます。初版の「すべての長短調のための 48 の練習曲」はどれも 1～2 分で終わるような小規模な作品となっていて、第 3 稿を知った上で聴くと「なんか知ってるような知らないような？」という歯痒さを感じるかと思います。それに対して第 2 稿は第 3 稿とほぼ同じ曲に仕上がっています。ただ、第 2 稿は要所要所が第 3 稿に比べて極めて難しく、転調

の技術が未熟で展開部などが冗長になりがちでした。これらが作曲家としての経験を積んだ41歳のリストによって洗練された結果、第3稿が生まれました。第2稿がピアニストとして世に送る渾身の練習曲だとしたら、第3稿は作曲家として世に送る渾身の練習曲であったと言えるのではないかと思います。

　さて、前置きが長くなりましたが今回私が演奏する第11番「夕べの調べ」は全12曲あるうちの屈指の傑作と言われています。厳かな鐘のモチーフにより始まり、ハープのような美しいアルペジオが響いた後は、重厚な和音の連続でクライマックスを迎え、最後は天に昇るような低音から高音まで響かせる大きな分散和音によって幕を閉じる曲です。夕方(夕べ)に1日の出来事を振り返り歌っている(調べ)様子を俯瞰して曲にしたのがこの「夕べの調べ」です。滑らかなアルペジオと重厚な和音の対比を楽しんでいただけるよう演奏します。

この曲、楽譜を見るとffが2ページ続いた後にそのままfffが2ページ続くというなかなかハードな曲なんですよね。
そんな激しい曲弾いてるのになんで痩せないかって？
うるさい！

〈他己紹介〉
笹木元太えかきうた

大きなお鍋に　何入れる？
まずはつくね　真ん中ひとつ
おもちも欲しいよ　デカいのふたつ
おもちの中には　ウインナー
お鍋にたっぷり　お水入れたら
酒もほしいな　盃入れとけ
お鍋に大きな　蓋したら
ぐつぐつ煮込んで　湯気でてきたよ
刺身を並べて　つまみも完璧

箸を二膳　並べたら
あっというまに
元ちゃ〜〜ん！

※完成品は LINE アイコンからどぞ

てことで笹木元太さんです。酒、タバコ、麻雀、クスリ…「ハマったらやべぇやつ」に全部ハマってる猛者です。彼の演奏もなかなかパワフルで迫力あります。聴いててワクワクすること間違いなし。お楽しみに！
あとクスリは嘘です。

次回のお知らせ

サマーコンサート

7/17(月・祝)

開場 12:00 開演 12:30

会場 札幌市民交流プラザ SCARTS コート